

公共交通での旅 第3弾【鳥取県編】

こんにちは。中国運輸局交通政策部 北川です。

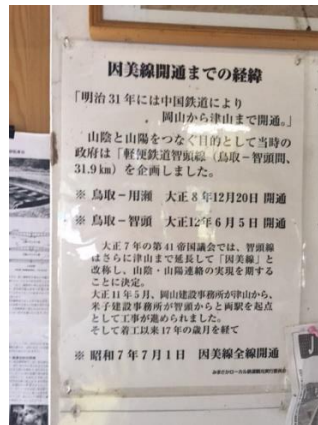
車を運転しない（できない？）私が、公共交通で旅した場所をご紹介します。

第3回目は鳥取県東部です。

11月某日（土曜日）。

今回の旅は津山駅からスタートです。中国5県の全107市町村を訪問することを目指していますが、津山市は岡山県北部の中心地であるからか訪問する機会が多く、もう5回目でしょうか。この日はちょうど公共交通利用の日の制定を目指す津山市が主催するイベントが行われており、イベントに参加する地元の高校生を始め多くの人で賑わっていました。

旅の始めはJR因美線に乗り津山から鳥取県智頭町を目指します。乗車したのは今年で10周年を迎えた「みまさかスローライフ列車」です。春と秋の年に2回運行されており、因美線各駅に停車しながら、3つの駅では地元特産品などのおもてなしを受けることができます。どの駅のおもてなしも素敵でしたが、全国でも珍しい転車台が残る美作河井駅のなめこ汁と地酒「矢筈城」が美味でした。約2時間半の旅路をボックス席で過ごし、同席のご夫婦ともお話をしました。ご主人が岡山、奥様が智頭町のご出身で、40年前に車を買ってから因美線に乗るのは久しぶりということで、車と鉄道の関係について考えさせられました。



智頭駅に到着後は、智頭宿を歩きます。3000坪という広大な敷地を持つ石谷家住宅、江戸末期から続く造酒屋「諏訪酒造」を訪ねました。智頭宿は、上方へと向かう主要道であった「智頭往来」の宿場町であり、道を尋ねたおじさまが「この道は街道だからずっとまっすぐ続いているんだよ」とおっしゃったのが印象的でした。

その後、本日の宿泊地である岩美町に向かいます。智頭駅からバスに乗って鳥取駅、鳥取駅からJR山陰本線で岩美駅に到着しました。

明日朝からの観光に備え、駅前の観光案内所で自転車を借ります。岩美町観光案内所には1泊2日でレンタルできる親切な制度があります。電動自転車のうち10km走れるタイプが1日500円、30km走れるタイプが1日700円だったのですが、私は10kmタイプを選びました。（この選択がどうなるかは2日目に続く。）

夜は、宿近くのお地元の寿司屋さん「福一」に行きました。解禁されたばかりの蟹、ぶりかまの塩焼きなど日本海の幸を堪能しました

2日目は、朝から自転車で岩美町を回ります。まずは道の駅「きなんせ岩美」の向かいにある喫茶店「めだかの学校」で朝食です。モーニングもある素敵な喫茶店でした。

その後、道の駅「きなんせ岩美」に行ってみると、蟹コーナーがあります。岩美町は松葉がにの漁獲量が日本一とのことで巨大な売り場で買い物客がどんどん袋に入れているのが壮観でした。

お腹と目を満たした後は、いよいよサイクリングです。今回は欲張って、網代（あじろ）、田後（たじり）、浦富（うらどめ）の3カ所を制覇することとしました。

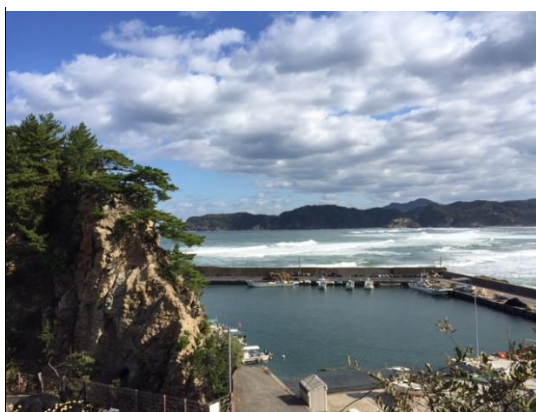


出典：岩美町観光協会

まずは網代を目指します。道中では、沓井大橋のほとりて謎の看板を発見。ここ以外にもありましたが、この看板の男性がどなたかは分かりませんでした。鳥取県とトヨタ自動車等が山陰ジオパークの観光で利用することを目的として実験中の超小型モビリティ「ジオコムス」も見つけました。途中道に迷ったりもしましたが、30分ほどで最初の目的地網代港に着きました。網代港にはボンネットバスのバス停がありましたが、年に数回バスツアーとして運行されているとのことです。



ここから田後に向かいます。自転車を進めると、目の前には坂が…。本気のサイクリストが喜ぶ坂、といえばその角度が伝わるでしょうか。いつもの私なら諦めますが、電動自転車なので強気で進みます。いくつかの上り下りを越えた後には素晴らしい景観が広がっていました。瀬戸内とは違う荒々しい波がこの海岸を作ったのだと実感する景色でした。（写真では伝わらずすみません。）ここで自転車のバッテリーが「残りわずか」を表示します。急な上り坂でのみ電動を発動することとして温存作戦に出ましたが、400円を惜しんだ昨晚の自分を叱ったことはいうまでもありません。田後港は坂が入り組んだところであり、上から港の形をよく見ることができました。



田後港を越えると、残りは3分の1ほどです。バッテリーの残りを気にしながらも、下り坂が多くなってきて、不安が解消されたところで、最後の目的地浦富海岸に到着しました。夏は海水浴場で賑わうところだけあって、ペンションや飲食店も多くありました。海岸から岩美駅に向かう途中では、建設中の国道178号の断面を見ることができました。断面萌えする方には非常におすすめのスポットです。



岩美町での山陰ジオパーク満喫サイクリングを終え、鳥取県を横断しながら米子まで向かいます。岩美駅前からバスで鳥取駅、鳥取駅からJRで倉吉駅に到着しました。倉吉からは赤碕行きのバスに乗り込みます。途中、北栄町大栄庁舎前で下車して、道の駅大栄に立ち寄りしました。鳥取では多くの人に利用されている黄色いUDタクシーは、北栄町においては、「人気のあの方」をまとっていました。



北栄町大栄庁舎前から再びバスに乗り込み、終点琴浦町赤碕に到着です。赤碕は海が見えるきれいな街でした。いつか鳴り石の浜に行ってみたいです。赤碕駅から米子駅に向かい、広島行きのバスに乗り込んで今回の旅は終了しました。

【行程表】

1日目（土曜日）

12:03 津山駅→智頭駅 14:43 （JR みまさかスローライフ列車）840円

16:13 智頭駅前→鳥取駅 17:17 （日ノ丸自動車 南部幹線）670円

17:23 鳥取駅→岩美駅 17:46 （JR 山陰本線）320円

2日目（日曜日）

レンタサイクル 1日 300円、500円、700円 （普通、電動10km、電動30km、1泊の場合は2日分）

11:40 岩美駅→鳥取駅 12:37 （日本交通 岩井線）690円

12:58 鳥取駅→倉吉駅 13:58 （JR 山陰本線）670円

14:35 倉吉駅→北栄町大栄庁舎前 15:08 （日ノ丸自動車 赤碕線）610円

15:58 北栄町大栄庁舎前→赤碕駅 16:24 （日ノ丸自動車 赤碕線）560円

17:11 赤碕駅→米子駅 17:42 （JR 山陰本線）580円

交通費：5,940円（レンタサイクルを含む。）

※バスの情報は、会社HPに掲載の時刻表又はWebの乗り換え案内での検索で調べることができます。

本記事に記載の情報はいずれも平成29年5月時点の情報です。

【地図】

今回訪問した場所の大まかな位置です。

